

2020/6/19

厚生労働科学研究費 難治性疾患等政策研究事業
「難治性炎症性腸管障害に関する調査研究」(久松班)

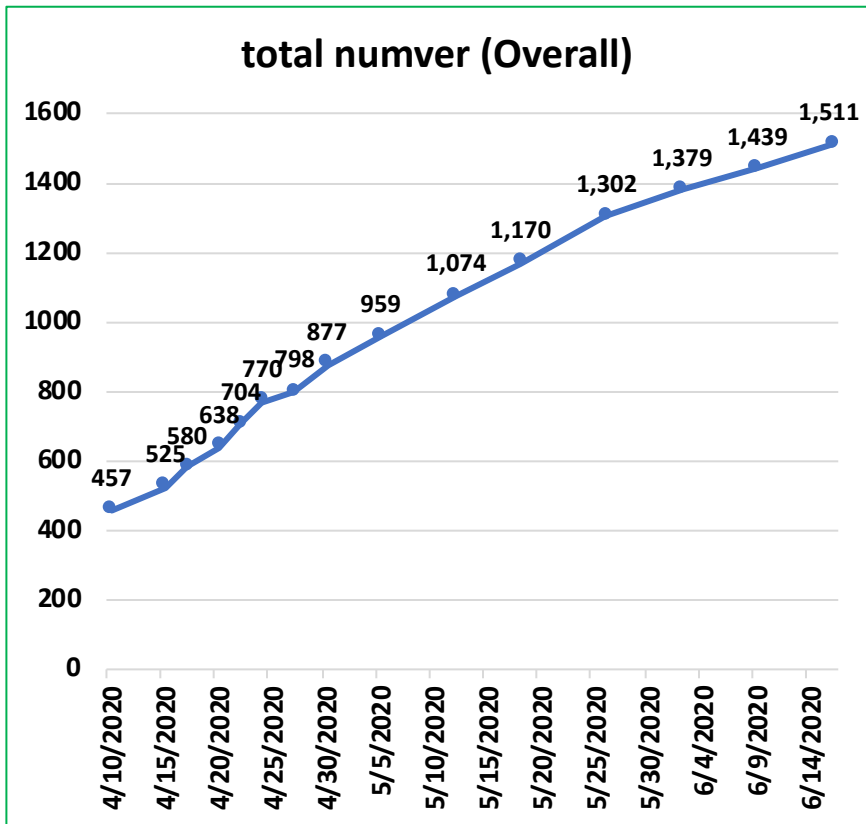
Weekly Summary of Surveillance Epidemiology of Coronavirus Under Research Exclusion (**SECURE-IBD**)

JAPAN IBD COVID-19 TASKFORCE MEMBER

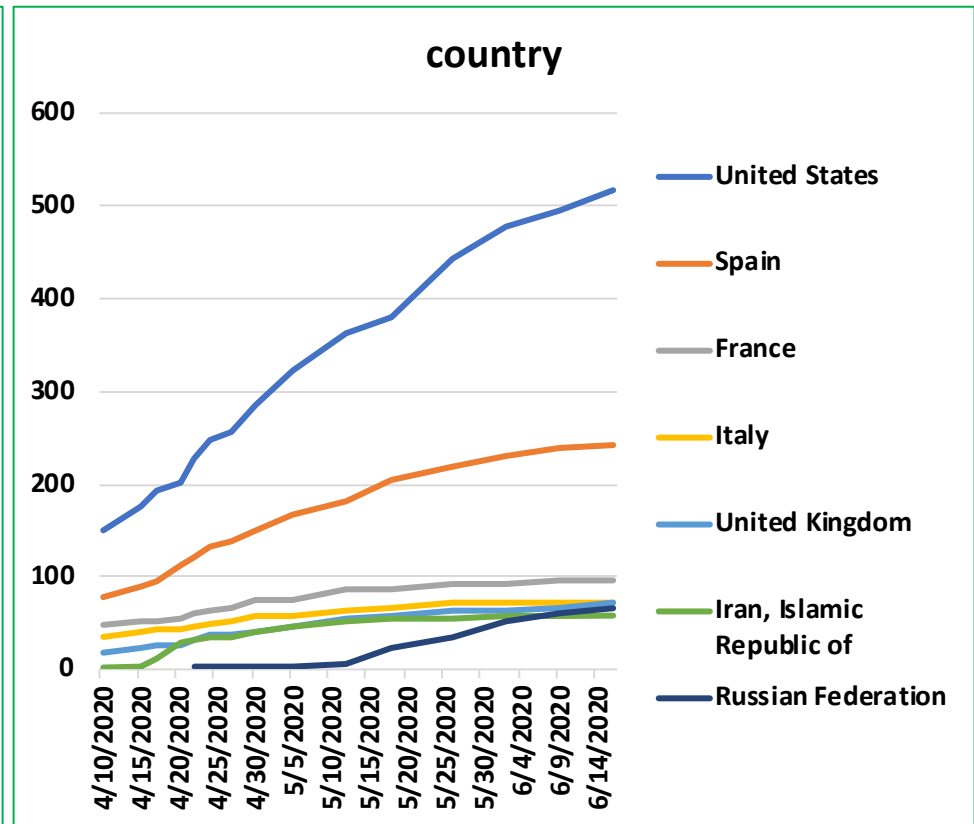
松本主之 松岡克善 松浦 稔 大宮直木
飯島英樹 平井郁仁 石原俊治 仲瀬裕志
久松理一

Brenner EJ, Ungaro RC, Colombel JF, Kappelman MD.
SECURE-IBD Database Public Data Update.
covidibd.org. Accessed on June /19/2020.

COVID19感染IBD患者数の推移

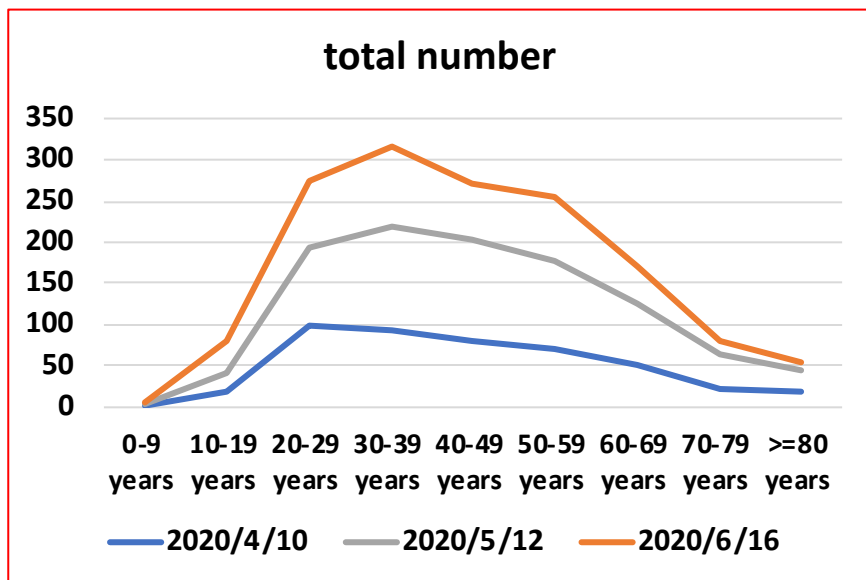


感染者数上位7カ国

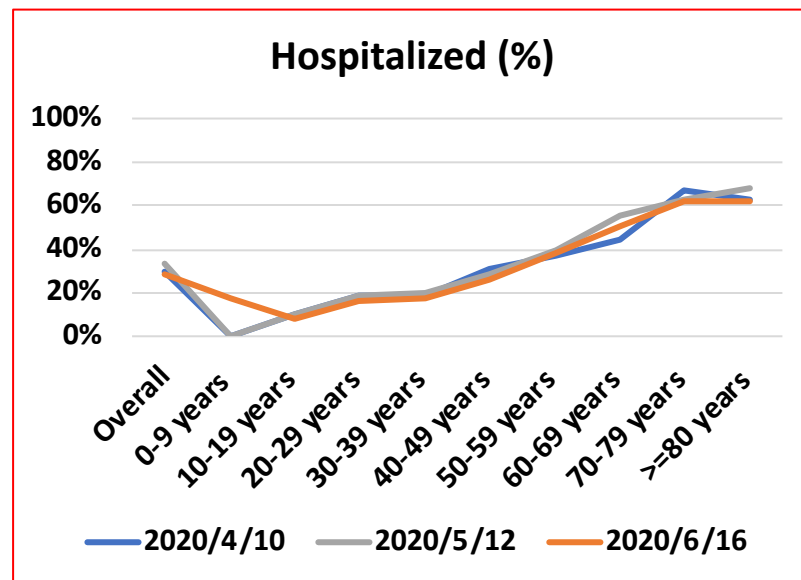


- COVID-19に感染したIBD患者数の増加が続いているが、現在の増加の主体は主にアメリカであり、欧州では新規症例が減っている。最近ではロシアの症例が増えている。

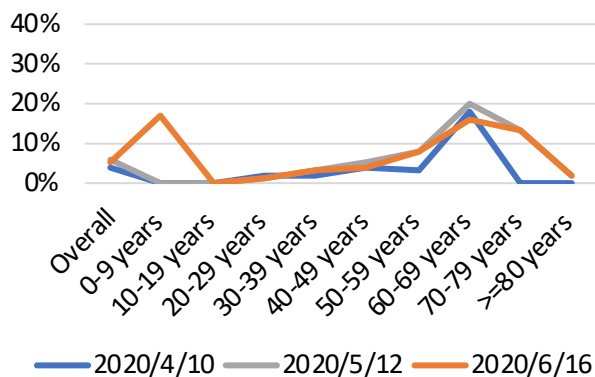
感染患者の年齢分布



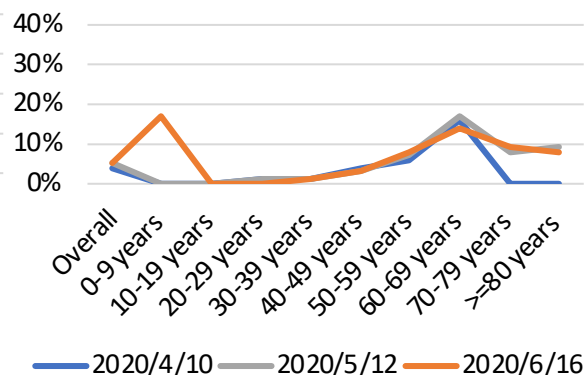
入院患者年齢分布



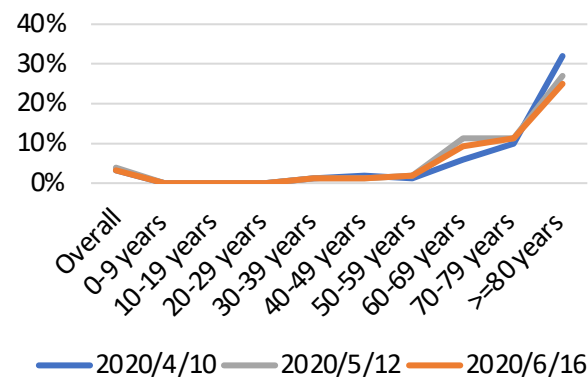
ICU (%)



Ventilator (%)

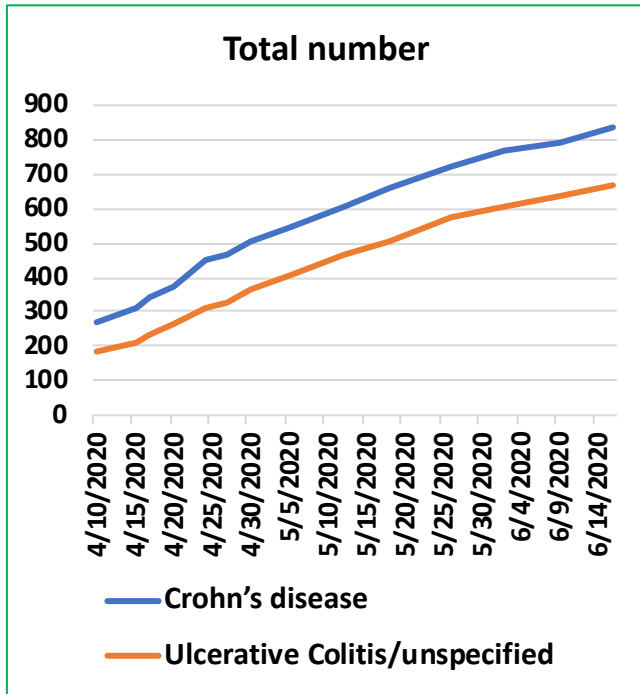


Death (%)

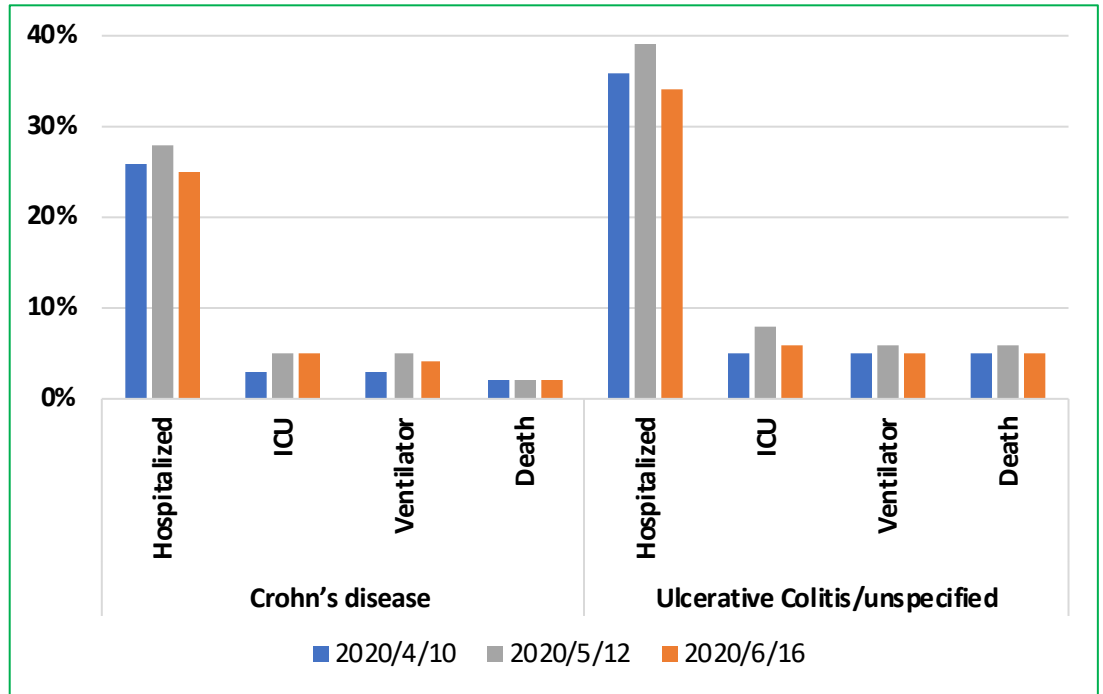


- 0-9歳でICU管理率、人工呼吸器管理率が増加しているが、母数が少ないため評価は難しい。
- 高齢者の高い死亡率は現在も減少していない。

疾患別患者数

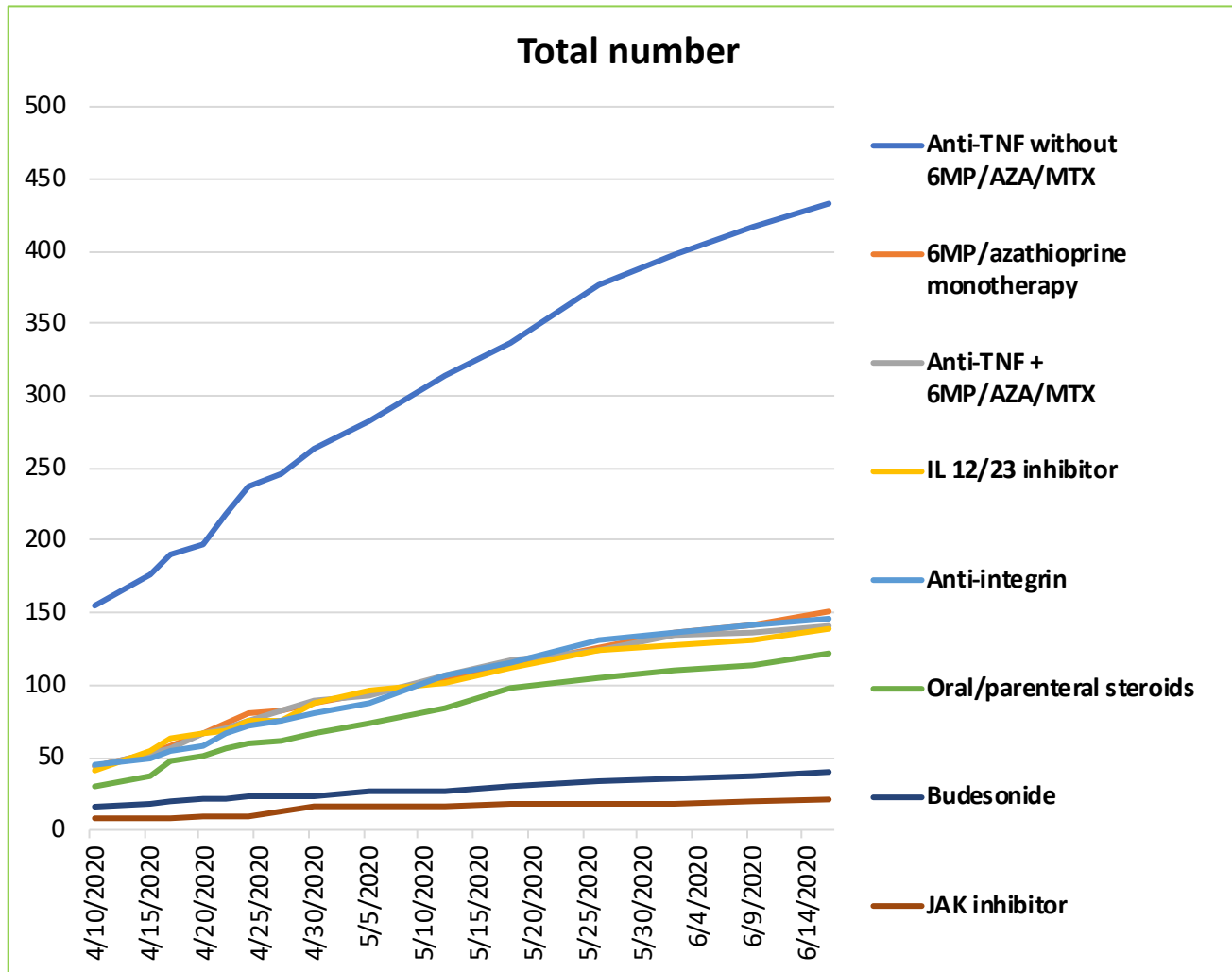


疾患別重症度の割合



- ICU管理率と人工呼吸器管理率に関しては、クローン病と潰瘍性大腸炎の差が少なくなっているが、死亡率に関しては潰瘍性大腸炎において高値が持続している。

治療別の患者数

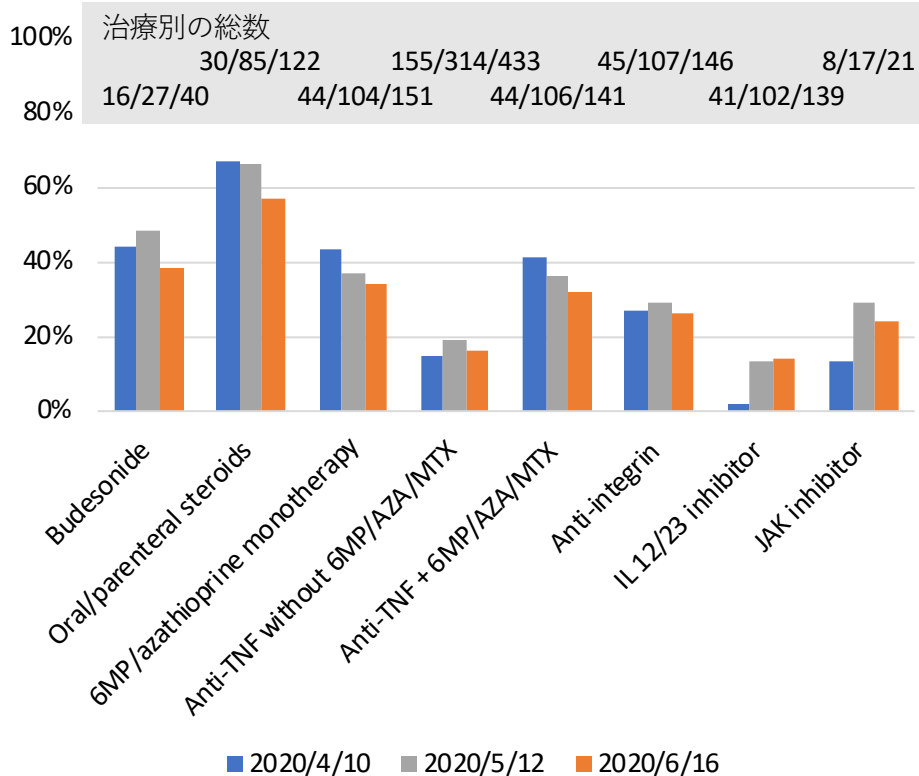


- 緩徐ではあるがBudesonideの症例数が蓄積してきている。
- JAK inhibitorの症例数はまだそれほど多くはない。

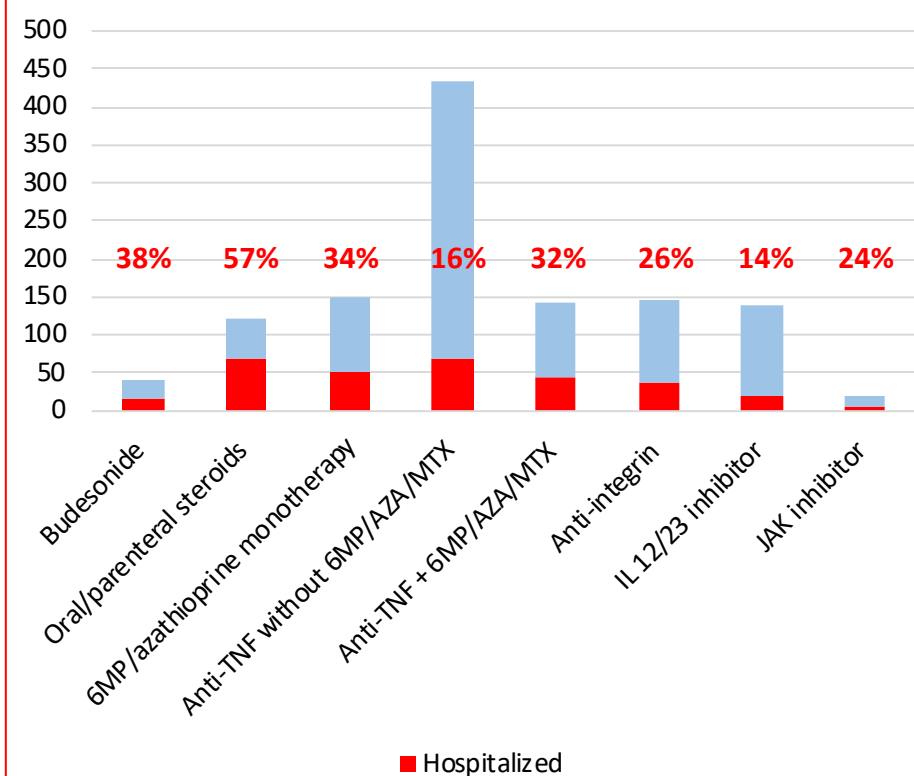
治療別の入院率の推移

治療別の総数と入院率

Hospitalized (%)



2020/06/19



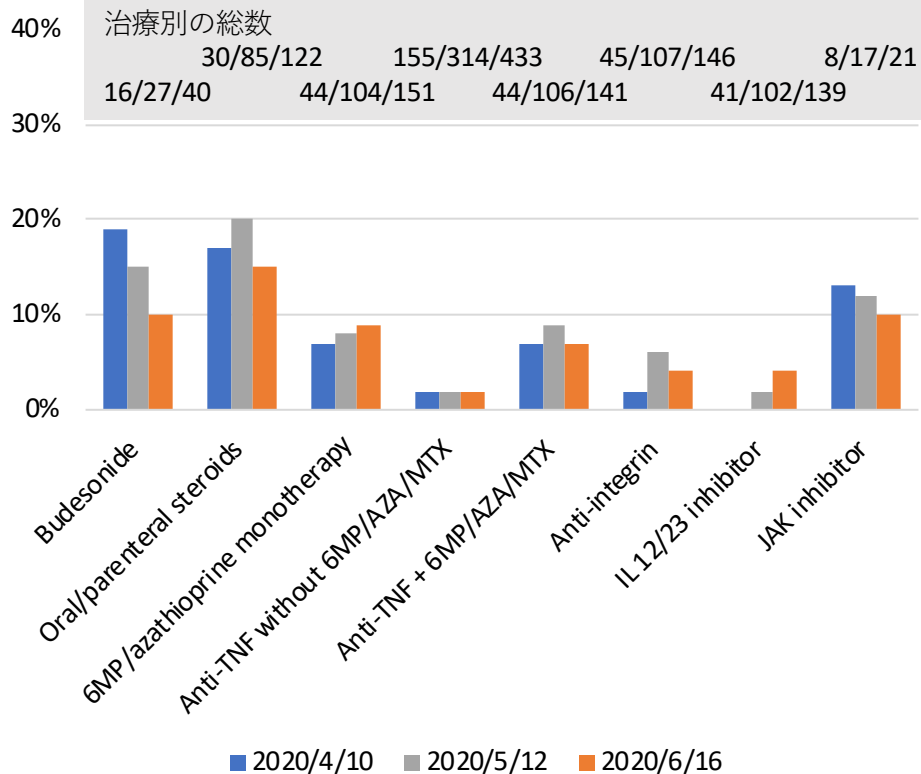
- 入院率はsteroidsで高値、Anti TNF without 6MP/AZA/MTXとIL 12/23 inhibitorで低値が続いている。
- Budesonideの入院率はOral/parenteral steroidsよりは低値であるが、他の治療と比較すると高値である。

治療別のICU管理率の推移

ICU (%)

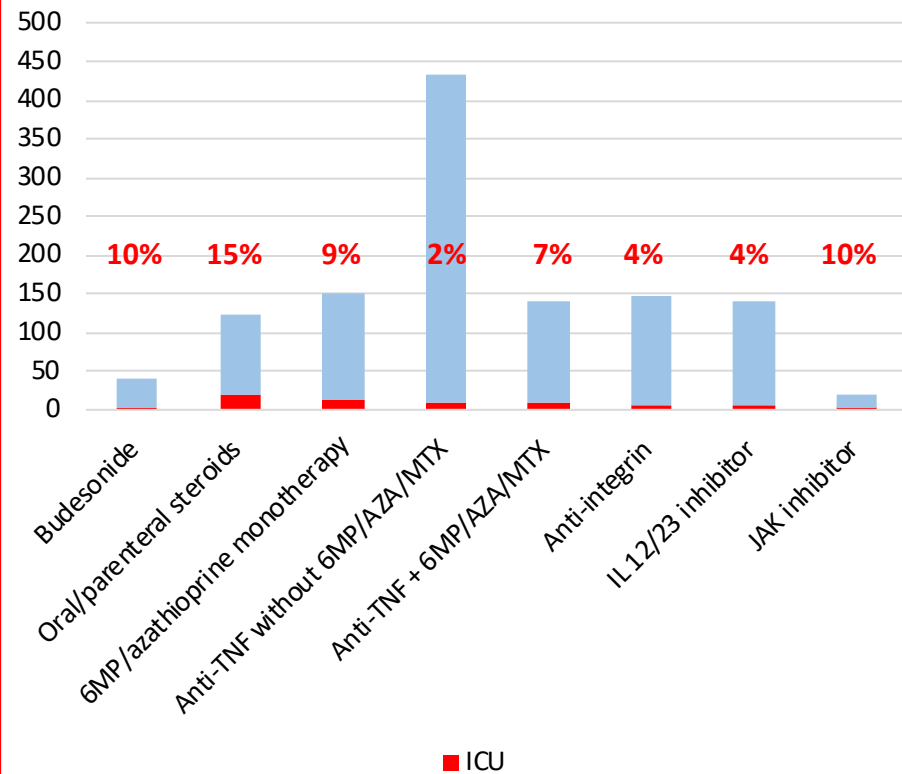
治療別の総数

30/85/122	155/314/433	45/107/146	8/17/21
16/27/40	44/104/151	44/106/141	41/102/139



治療別の総数とICU管理率

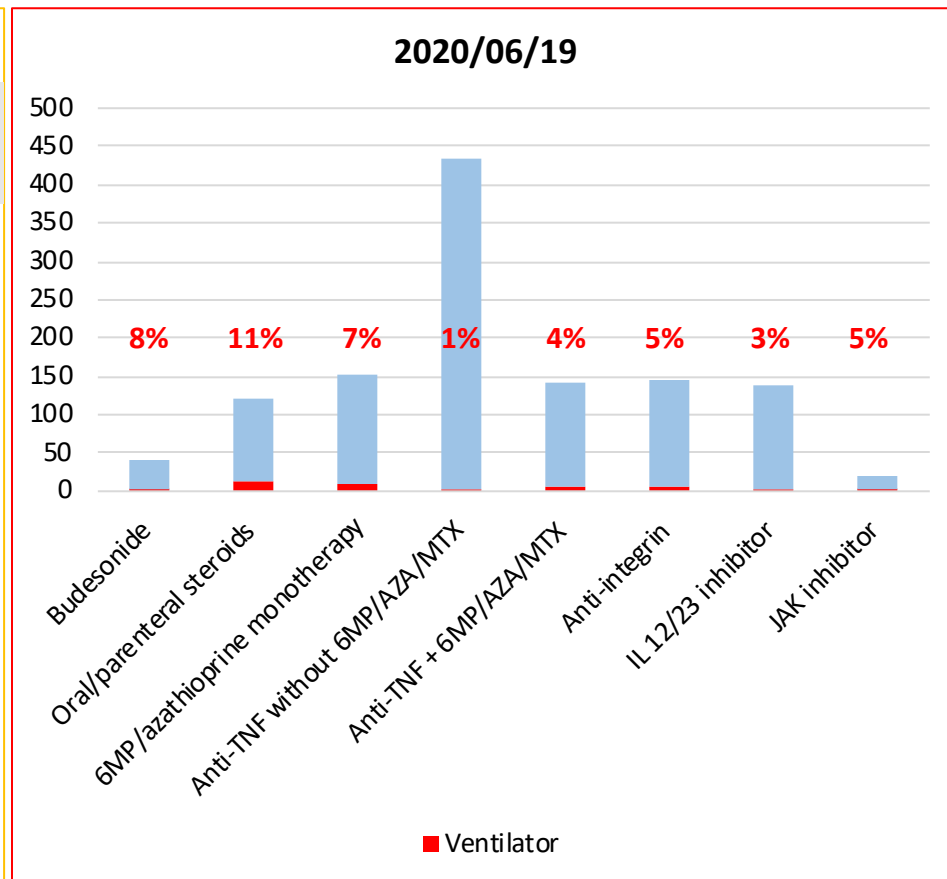
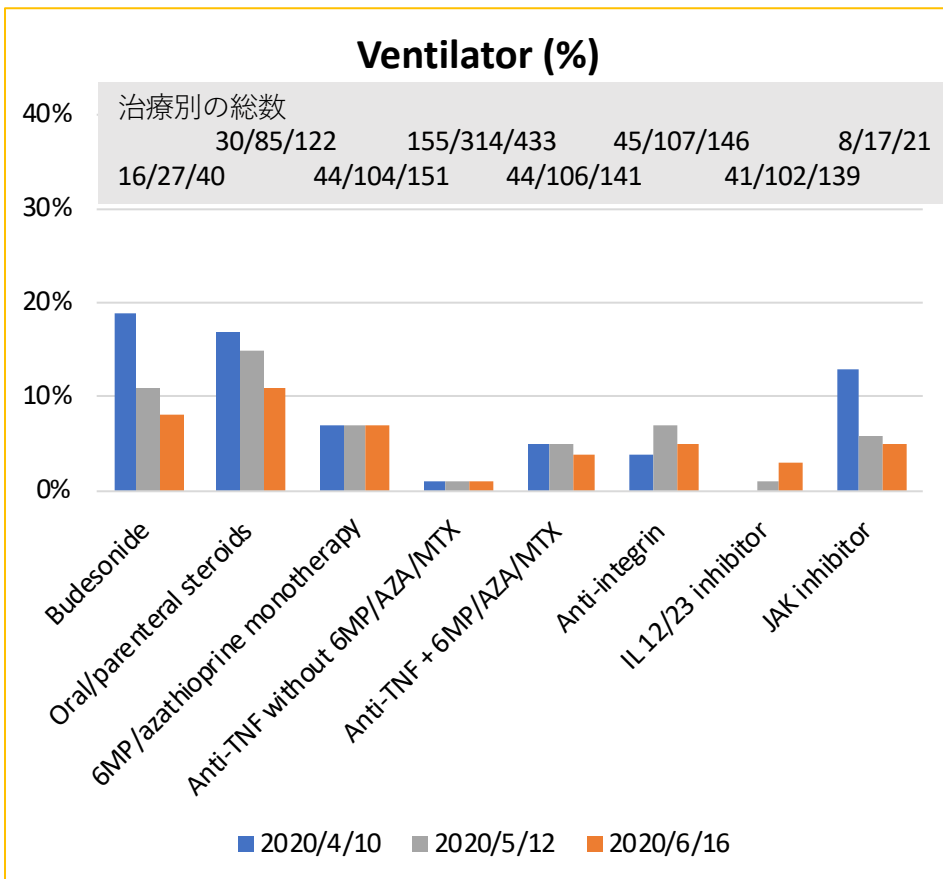
2020/06/19



- ICU管理率もsteroidsで高値、Anti TNF without 6MP/AZA/MTXとIL 12/23 inhibitorで低値が続いている。
- BudesonideのICU管理率もOral/parenteral steroidsよりは低値の可能性はあるが、他の治療と比較すると高値である。

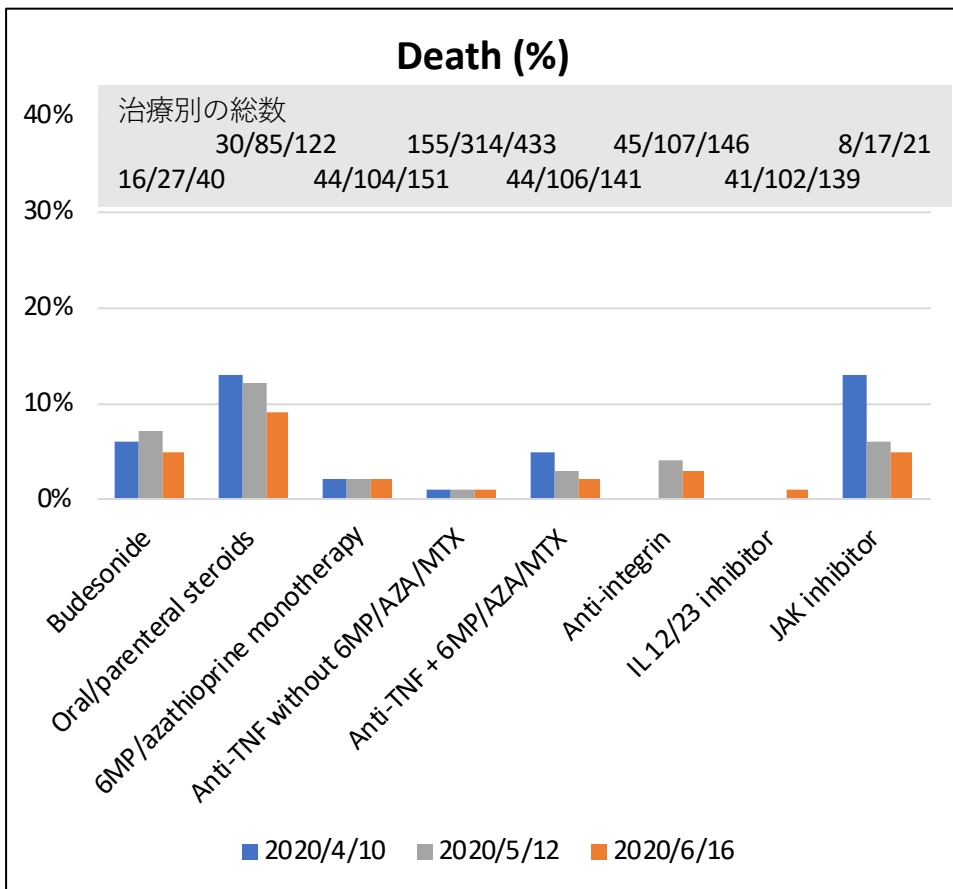
治療別の人工呼吸器管理率の推移

治療別の総数と人工呼吸器管理率

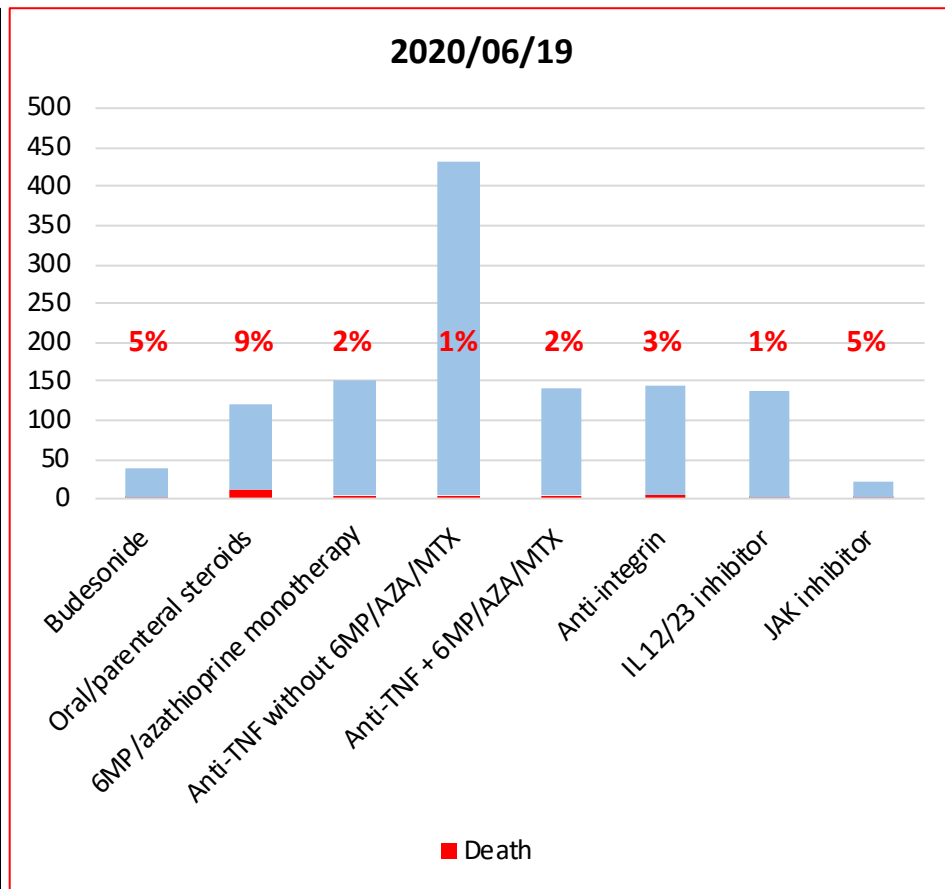


- 人工呼吸器管理率もsteroidsで高値、Anti TNF without 6MP/AZA/MTXとIL 12/23 inhibitorで低値が続いている。
- Budesonideの人工呼吸器管理率もOral/parenteral steroidsよりは低値の可能性はあるが、他の治療と比較すると高値である。

治療別の死亡率の推移



治療別の総数と死亡率



- 死亡率もsteroidsで高値、Anti TNF without 6MP/AZA/MTXとIL 12/23 inhibitorで低値が続いている。
- Budesonideの死亡率もOral/parenteral steroidsよりは低値であるが、他の治療と比較すると高値である。